

令和3年度 延岡青朋高等学校 総合評価（定時制課程）

『評価』は4段階の数値で行う。 4：十分達成されている 3：ほぼ達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない

重点目標	具体的な方策(P)	結果と課題(D)	自己評価(C)		改善策または充実項目(A)	学校関係者評価	
			項目別	総合		評価	
						項目別	総合
1 「確かな学力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を踏まえた教育課程の検討の継続 国語、数学、英語における学校設定科目を継続させ、学び直しや進学希望生徒へのニーズに対応する。 科目履修制度の的確な運用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間で卒業できるⅡ部③の生徒が全体的に増加していて、アルバイトと学業の両立を目指している。 学校設定科目は生徒への必要性もあり各教科担当者の協力が得られた。 科目履修生も前後期で延べ8名13科目受講。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 新課程へ対応した教育課程として、教務部及び教科代表者との連携を図り、微調整を行いながら生徒及び学校のニーズに対応したものと完成に近づいている。 新学習指導要領の実施に伴い、評価基準の作成と、シラバスの作成等依頼している。 	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 学業と仕事（アルバイトを含む）の両立を図りながら、生徒各自の進路実現に向けた更なる支援をお願いしたい。 個々の学力に応じた指導で学力向上を図る教育はこの学校の特徴を活かしていると思います。
	<ul style="list-style-type: none"> 授業力および単位修得率の向上 月別指導計画を作成し、授業の振り返りを行うことで、個々の授業力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科会を通じて日々の授業改善や専門性の向上に努めることについて継続してお願いしている。 	3		<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響もなく、感染症予防対策を充実させてほとんど予定通り授業が実施できている。 	3.6	<ul style="list-style-type: none"> これからも個々の学力向上を図る教育に務めてください。 コロナ禍の中、予定通り授業を進めていくのは、大変であったとお察しいたします。
	<ul style="list-style-type: none"> アクティブラーニングの視点を取り入れた研究授業及び授業研修や、ICTを活用した研究授業及び授業研修を実施することで単位修得率向上のための一助とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度、急激にICT化が進んだ。授業研修ではICT利活用を中心に意義のある研修を実施することができ、すぐに授業等で生かされた。 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 新しいタブレットの導入や全教室へのプロジェクト設置などICT化が進み、授業環境が充実した。グループクラスルームを活用したリモート授業が可能な方法をテーマとした授業研修会を数多く実施できた。利用状況も増えていった。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 今後益々成長拡大するIT機器の活用及び情報処理能力の向上を期待したい。 ICT化が進めば教える側のスキルが重要になります。大変かと思いますが、スキルアップに務めてください。
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に応じた、グループ毎の取組。 キャリアパスポートの有効的な活用。 各選考試験に対応する、面接練習体制、教科と連携した作文指導及び教科指導の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ毎に設定したキャリア教育を基本に実施できた。 面接指導、作文指導など職員の協力により、希望生徒毎に対応することが出来た。進学面では宮崎公立大学に合格し、国公立大学への進学者があった。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> C,Dグループのキャリアパスポートは、本校で作成した冊子を使用しているが、改善の余地もあり、今後の課題である。 進路指導においては、生徒一人一人の希望に十分に応えられるよう、じっくりと話し合いをし、教員同士の連携も密に行っていくことが必要である。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、きめ細かい進路指導をお願いします。
2 「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識の醸成（問題行動への常時指導や巡回指導の強化） 礼法やマナー指導の充実（集会や式典での指導の充実） 学校行事の充実（生徒会や生徒専門委員会との連携強化） 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は、夕休みの巡回指導とともに、下校指導（校門の一旦停止遵守）も継続的に実施して、成果をあげることができた。 ●コロナの影響で集会や式典が中止や形式変更になり、十分な指導ができなかった部分もある。 ○文化祭をオンライン形式で実施したが、生徒会を中心にとっても充実した文化祭を実施できた。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 校門付近での交通指導は、生徒も入れ替わっていくので、今後も継続して行う必要がある。 学校行事等様々な場面で生徒会活動の充実が顕著に見られた。 	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 他校に比べて校則等、緩やかな面があるが「自律」と「TPO」を常時育む生徒支援を全職員で推進し、新社会人に向けた貴重な生徒を育ててもらいたい。 先生方の生徒一人一人への目配り、気配りや思いやりの心を持って接して下さることが、生徒や保護者に様々な気づきを与えていることに感謝します。

		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートや日常の相談を通して、いじめや人間関係のトラブル、深刻な悩み等をすくいあげ、対応策を検討する。 ・読書週間を通して本に興味を持ってもらい、POPコンテストの充実を図る。 ・読み聞かせを通して、心の感性を高める活動をすすめる。 ・1人当たりの貸し出し冊数の目標4冊を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前期1回、後期1回の学校生活アンケートや担任による面談を通して早めに生徒の状況を知ることができた。いじめはゼロであった。 ○読書週間を実施することにより、本の貸し出しが増える。 ○POPコンテストに意欲的に取り組む生徒がおり、素晴らしい作品が多かった。外部の作品募集に応募することができた。 ○読み聞かせ担当は生徒だけでなく、保護者も読んでくださった。とても上手で、多くの生徒が聞き入っていた。 ○一人あたりの貸し出し数4.4冊(11月現在) 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・障害や困難さに応じた指導・支援について理解を深めることが大切である。 ・昨年度はコロナ禍により、学校行事やアルバイトが中止になったためか読書量が多かったようだが、今年度は学校行事や生徒会活動、部活動、アルバイトなどで読書量が減少しているようである。 ・読書に意欲的な生徒が固定化されており、苦手意識がある生徒にも本を手にとってもらえるような環境を整備していきたい。 ・教科の先生からリクエストがあり生徒に勧めたい本を購入することができた。継続して様々な分野の本をそろえていきたい。 	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは表面化しにくいので、細かな気配りをお願いします。 ・「読書量」が全体的に増えているとの事であるが、今後も各職員が“推奨する本”等をどしどし紹介しながら全校生徒が本を好きになるよう本の良さを伝えてほしい。 ・本を読むことで他人、他者、いろいろな考え方や世界に触れることができるため引き続き読書週間を通じて本、作者に興味を持ってもらいたい。 ・読書週間は良い取り組みです。今後も継続してください。
3	「健やかな体」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある生活習慣の確立(生徒専門委員会との連携強化) ・保健安全教育の推進(各種研修会の充実) ・部活動の活性化(心・技・体の強化・部活動規定の見直し) 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒専門委員会において、コロナ感染対策や「歩きスマホ」の改善について等、自発的に日常生活の問題点に取り組んでいた。 ○県定通体育大会において、男子バスケット、女子バレー、女子バドミントン、男子柔道が全国大会の切符を得た。コロナの影響で全国大会出場は断念した。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して部活動を実施する部が増えたので、現状にあった部活動規定の見直しをする必要がある。 	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・「心身の健康第一」を念頭に部活動及び日々の生活(食育も含む)の支援と充実をお願いしたい。(規律ある生活習慣の確立支援) ・全国大会の辞退は残念でした。コロナ陽性者も増えているタイミングでしたが、生徒に影響を考えれば良い判断だと思いました。 ・定通での部活動は大変な面があるかと思いますが、頑張ってください。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が危機管理意識や、施設等の安全管理、保健安全に関心を持ち、自ら考える力を育成するため、環境教育や防災教育、心肺蘇生法実技講習、講演会等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○延岡市消防本部の協力を得て、避難訓練及び災害学習を年3回、AEDの実技講習会を生徒・職員各1回実施できた。昨年中止になった訓練・講習も実施し、生徒・職員ともに危機管理の意識を高めることができた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や災害学習について、行政と連携し、さらなる内容の充実を図っていく。また、地域との連携について、その方法を模索する。 	4.0		<ul style="list-style-type: none"> ・防災、災害については、常に仲間や弱い立場の方の命を守る教育をお願いします。 ・地域に施設開放を行っています。逆に使用団体が積極的に学校をサポートしていただくとありがたいと思います。 ・大きな地震があったばかりですので、今後も防災の取り組みを継続してください。 ・学校のスローガンである3K「関心・感動・感謝」を更に推進しながら、今後も様々な体験(学校行事の充実を含む)を実践させていただきたい。 ・県立高校ではありますが、延岡市とも更なる連携を図っていただきたいと思います。
4	学校創生『チーム青朋』の確立	各関係者・関係機関等との適切な連携を図る	○生徒支援では、ハートサポーター、スクールカウンセラーを始め、県立支援学校、市子ども家庭課などと連携をとり情報を共有、方策を練ることができた。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験や特性をもった生徒が増えてきているので、今後も専門家と連携をとりながら生徒に対応していくことが重要である。 	4.0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 役員の活動を通して、今以上に保護者との連携が図れるよう仕掛け作りをしてもらいたい。 ・改善策を講じてより良い連携体制を作り上げていただきたい。 ・コロナ禍でも子どもたちに何か役に立ってないかと企画した読み聞かせを保護者の方が経験され「充実した時間でした」と喜ばれていました。 ・PTA 連絡網は、スマホ等の普及により、昔ほど、個人情報保護と身構える事は無いと考えます。先生方と保護者の間及び保護者間で必要な連絡はあります。ただ、連絡事項とプライベートな情報との線引きは個々でしっかり考える必要があると思います。 ・PTA の方々とのお付き合いで、支えられたことに感謝します。
		P T A 活動によって保護者と学校との連携、協働を図る	○コロナで実施出来ない行事もあったが、校内生活発表会の審査、読み聞かせ放送および P T A 夜間あいさつ運動で、P T A のご協力を得ることが出来た。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を通じての保護者連絡が上手くいっていない。 ・P T A の連絡網も検討すべきことかもしれないが、個人情報の取り扱いを考えると難しい。 	3.2		
		行事での通信制との連携を図り、全校的な協力体制を確立する。	○卒業式会場作成及び片付けで、定通お互いに協力しあえた。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・別々の開催となった。式後の片付けも合同で実施するよう計画した。 	3.2		<ul style="list-style-type: none"> ・定通の協力関係を今後も継続してください。 ・連携を図ることで、どのような効果や変化が期待できるか検証できるとよいと考えます。

